

## 池田市総合計画審議会 自治総合部会④ 議事要旨

日 時：令和4年2月2日（水）10：00～11：20

場 所：池田市役所 3階 議会会議室

出席者：（外部委員）

中川部会長

門屋委員、北川委員、清水委員、庄田委員、高野委員、若本委員

（50音順）

（内部委員）

岡田委員、石田委員

<事務局>

総合政策部 水越、SDGs政策企画課 岩下、川本、田籠

<関係部>

市長公室 西山

傍聴者：0名

### 1. 開 会

事務局より出席者の紹介、開催方法について確認があった。

### 2. 案 件

#### （1）第7次総合計画について

事務局より資料について説明が行われた後、次のように質疑・意見交換が行われた。

<部会長>

それでは只今の説明を踏まえて、委員の皆様からご意見をいただきたいと思う。

<外部委員>

資料2の最後のページ「まちづくりの進め方」の「SDGsの推進」と、「持続可能な都市経営」の最後に、「「選択と集中」を進めます」とあるがこの辺りのバランス、SDGsだと誰一人取り残さないというところがあるので、そこと「選択と集中」のバランスはうまく配慮しなくてはならないと感じた。

これまでの議論でもあったと思うが、どうしても「選択と集中」といったときに、どこか切り取られる、取り残される、切り落とされる部分があるのではないかと感じたので、特に資料2の14ページの3のパートというのは、変更なしということだったので、これまでの段階でコメントを出しておかないといけなかったと思う。

そういう意味ではこの14ページの「SDGsの推進」と「持続可能な都市経営」のうまい落とし所というか、バランス点を運用レベルで見えていく必要があると感じた。

<部会長>

これについては後ほど事務局からコメントをもらいたいと思う。

<外部委員>

構想の「まちの特徴」⑧で、「日本の1／1,000」という記述が面白いと思い調べると、本州の1000分の1であった。こういうのは意図的にアピールするために使われているかもしれないが、気になりはじめるとすごく気になると思った。

また、読み返してみて、かぎ括弧が付いている言葉と太字で強調している言葉があって、使い分けはどうされているのかというのが気になった。

業務の効率化とうたわれているが、基本計画を見ると、「充実」という言葉で終わっている取組と、「合理化する」と書かれているものがある。市として全体的に効率化した状態をどう考えるのかが気になった。

<部会長>

委員の質問に事務局からお答えいただきたい。

<事務局>

SDGsと、いわゆる包摂性と、選択と集中の住み分けというところ、この委員会や全体会のところでも頂戴していたお話として、人員配置等の選択と集中になると、例えば医療従事者等もそこに入ってきてしまうという誤解も生じかねない。情報の粒度からすると、今の例は総合計画に書かれるような粒度合いでないが、そういったところにつながりかねないところは、市の意思としてしっかり示すべきというご教示を頂いていたかと思っているので、横串として「SDGsの推進」と「持続可能な都市経営」が相反するものとして書いているのではなくて、「持続可能な都市経営」はむしろそのSDGsをするために、こちらの方で優先というか先行させていただくというご議論であったかと思う。先行させていただいて、後ほどこちらの方にも着手させていただくという進め方のところをもう少し丁寧に書けないか、一度預らせていただきたい。

この部会としては最後だが、最後全体会の方に移し替えていく際に本日も含めたご意見、宿題等を打ち返させていただくので、本日いただいたものも預らせていただいて、より丁寧な表現をできないかを検討したいと思う。

同様に委員からいただいた、いわゆる数字の根拠や使い方、用法の統一感についても併せて最後に確認したいと思っている。

<外部委員>

全体的に「SDGs」と「協働」という文字は結構出てくるが、途中で誰一人取り残さないという部分が少し薄れてきている気がしていたが、先ほど事務局からのご説明で、ある程度盛り込まれるということで納得した。

それに加えて、資料2の9ページ目や、12から13ページにかけての各施策の柱の部分でもSDGsの理念を踏まえたような書き振りであれば、より多様化していることに対しての取組をしていくことをうたえるかと思った。

#### <外部委員>

今後の基本構想の素案のところを拝見していると、自治体だけ、その市民だけということではなくて、事業者や関係するNPOなど、色んな人が絡んでまちづくりをしていくというのは、他の自治体でも同じようなことを言っている。例えば横浜のSDGsデザインセンターのような集いの場のような形の取組があれば、団体に所属している人もいれば、個人の人もいて、多様な意見を拾うことができる。そこへ行くと誰かいて色んな意見が集まる。前期・後期で成し遂げていくために、そのような場づくりというか、仕組みづくりがあればどうかなどと思った。

#### <外部委員>

資料5と資料2の関連性について少し確認したいと思う。

資料5の「関連する取組」の破線で囲っている部分は、先ほどの説明からいくと最終的には計画に記載されないと伺ったが、なぜ記載しないのか。今までの議論の中で、内容に関しては行政改革推進プランや、市の方でまたさらに詰めていくということだが、この資料5全体は修正して具体的にはなっているが、市民から見ると結局何をするのか分からないというところもあるので、具体的な取組とは何か、ヒントになるようなものはあった方がいいと個人的には思った。

関連するところで、資料2の2ページ「計画の位置付け」というのがあるが、ここに行財政改革指針や推進プランというのは特に記載はされないのか。以前に教えて頂いたかもしれないが、それが個別計画になるのであれば、別に問題ないと思うが、全体に横串をさすような具体的な内容が記載される計画なので、何かここに書いておいてもいいかと個人的には思った。

資料2の14ページだが、「まちづくりの進め方」ということで、この部会で検討してきた内容の入り口のようなことがここに記載されていると理解しているが、2番の「みんなで取り組むまちづくり」で、「市民、地域団体、企業、大学」という記載があるが、実際資料5の「みんなで取り組むまちづくり」の部分には、大学がなかったり、事業者、企業のことかと思ったり、また地域団体という記載も特になく、その辺りの表記揺れが気になった。

#### <部会長>

今の件については事務局からコメントをいただいた方が整理しやすいと思うのでお願いしたい。

## <事務局>

SDGsの方から言及させていただく。SDGsの意識付けという形での表記というのは、先ほど委員からいただいたような表現の統一等のところも含めて、踏まえてさせていただきたいと思う。

委員から頂戴した仕組みづくり、まさしくおっしゃるとおりで、様々な官民連携のところは、本年度から種まきの取組をする中でも強く打ち出していきたいところで、来年度の方針も考えている節もあり、そこが書き込めるとした場合に、基本構想の14ページ、横串としての「持続可能な都市経営」で、皆様と一緒にさせていただくという仕組みづくりをさせていただいて、1番、SDGsの17番目、パートナーシップや、2番「みんなで取り組むまちづくり」、コミュニティというところを全て、SDGsウエディングケーキではないが、一番下のところで大きい枠組みとして受け止めるといった観点から考えさせていただければと思う。

委員から頂戴した、資料5で「関連する取組」は書かないのかというご質問だが、前回の第3回部会でこちらの関係事務局として、行財政改革プランを策定する所管部局である行財政改革推進課も出席させていただいた。令和5年度からの総合計画と同時に走り出せるように行財政改革推進プランの策定作業に入っており、その中で取り組む項目、若しくはもう少し大きいくくりというか、どのようなことが考えうるのかを具体的にお話させていただいたたたき台として、この資料を作成させていただいた。当初はそういった第3回目の部会用に作らせていただいたところはあるが、ご指摘いただいたとおり、あった方が分かりやすいと思う。例えば資料5表面右手の(2)「みんなで取り組むまちづくり」、「関連する取組」として「情報公開の適切な実施と個人情報の保護」と、情報公開条例と個人情報、二つの情報関係条例をセットにさせていただいている。行政情報の公開・提供と発信というところで、個人情報の言及が漏れており弱いかもしれないというところもあって、改めて「関連する取組」として具体的に書かせていただくか、箇条書きにした方が効果的なのか、それとも吸い上げさせていただきながらストーリー付けをしての文脈にするかは少し検討させていただければと思う。

最後にあった、基本構想の中での表記の統一は確認させていただきたいと思う。

基本構想の「計画の位置付け」の図だが、こちらは「関連する取組」のところもそうだが、あくまでもビジュアル化することで、皆様との共通意識を持つ一助となればと思い掲載させていただいている。「各分野の個別計画」において、例えば都市計画マスタープランというようなものもあれば、もっと細かい計画もあり、個別には書かせていただいているところも多々ある。行財政改革推進プランにしても、その下位計画の一つというところになってくるので、上のところで書かせていただいている「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」や、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」というものは、ほぼ総合計画に準じる形で、柱で言えば1から4、そしてその横串の三つのSDGs等の取組の全てにおいて網羅しているところをここに列記させていただいているので、あくまでも下位計画の一つと捉えていただけたらと思っている。なので、その辺りの具体的な計画については、資料4のところで掲載させていただいている「関連する分野別計画」で記載している。ただ、これまでの部会の中でいただいていた「関連する分野別計画」が他のシートにも係るという

議論があったかと思っていて、ある程度この各シートの中で情報を充実させるとそれなりに膨大になり、そこを圧縮すると非常に読みにくいということもある。再度構成を考えさせていただいて、「関連する分野別計画」の表現の仕方、複数に関わるものは別出しという形で網羅する。例えば横串ではないが、このシートとこのシートにはこの計画が関連しているということが一目見て分かるような方法を只今検討している。

#### <部会長>

基本構想の素案2ページの書き振りは、あくまでもラフなイメージにとどまるものであって、実際の関連計画は資料4の個別及び下部の方に詳しく記載されるという説明であった。委員が少し疑問に思っているのは、分野別の縦の計画ばかりではなくて、横つなぎする計画についても記載すべきではないかというお示しかと思う。実際に私も同感するが、今日の行政の計画というのはその3分の1は全部横串計画である。実は縦割りの分野別計画に見えてもその分野だけにとどまらず、関連分野にまで及ぶので、実は分野の個別計画と書くのは少し心苦しい面も私は感じる。現在の計画は都市計画も含めて1分野にとどまるものの方が少ない。なので、あえて分野別計画と言わざるを得ないが、その大半は他の分野にも範囲が及ぶとご理解いただければいいと思う。

昔は行財政改革という分野の個別計画という扱いで記載していた時代もあったが、さすがにそれはなくなった。なので、これはあくまでラフイメージとご理解頂ければどうか。個別の計画は各資料4のところで全部網羅していくので、この辺りの漏れ落ちはないと思う。

#### <外部委員>

細かい修正のところは読みやすく、理解がしやすくなったかというところで納得をしている。

全体を通して他の方からも意見があったように、SDGs的な誰も取り残さないといったところの考え、一方で「選択と集中」というような言葉が同じ資料で使われている。全体を通して、どういう部分がSDGs的に誰も取り残さない考えで使われているのか、一方でこういう部分においては、選択と集中をしていかなければならないというところが、もう少し明確になると分かりやすいと思う。

また少し細かいところでは、その「選択と集中」というところに関しての表記が色々な使われ方をしている。「選択と集中」という言葉が出てきたり、「適正」という言葉が出てきたり、「効率」という言葉が出てきたり、文章ごとによって色々な表記のされ方がしているので、難しいとは思いますが統一できた方がより全体を通して読みやすくなると感じた。

#### <部会長>

私も委員としての意見に留まるが、先鞭をつけられた「選択と集中」という言葉についてのご懸念を聞かされた。これについては私の解釈だが、SDGsということを重視する上での選択と集中と考えるべきだと思う。そうすると社会的少数者や弱者、あるいは未来を担う立場の世代に対しては、政策の優先順位が上がると解釈すべきと思う。そうすると

現在のいわゆる標準的な施策の中で、受容者側として利益を享受している人たちは、相対的に我慢せざるを得ないという姿勢に立つと私は理解している。

弱い立場の者を切り捨てて、あくまで経済再生産性が高いところに投下するという発想には立てない。つまりSDGsという大前提を押さえた上での選択と集中にならざるを得ないので、一昔前の経済優位型を選択と集中という論理はここには成立しないと理解している。

昔の選択と集中というのはどちらかという、弱い者いじめのような感じで、そういうカラーを少し懸念されたと思うが、私は1番にSDGsがある限りそれはあり得ないと解釈した。

それでは少しだけ補足させて頂きたい。この部会は4回目で今回が最後になる。事務局のコメント・説明にもあったが、この部会で出たご意見は総合計画に反映されたものもあるし、中には反映しにくかったものもあると聞いている。この点については、当部会に岡田副市長、石田副市長もご参加いただいているので、そのような反映されなかったものについても、今後の分野別計画の策定にあたって、あるいは事業の実施段階の参考として、活用していただくことをお願いしておきたいと思う。

そのようなことも踏まえて、お二人の副市長からコメントをいただきたい。

#### <岡田委員>

先ほど言われた反映できなかった意見は色々ある。昨日の委員会でもあったが、男女共同の中での女性の使い方や、個々の人権に対する考え方などで、女性の問題ならば、男性の問題も入れた方がいいのではないかというお話もあった。今回は弱い立場での女性という意味で書かせていただいております、それを支える男性という意味では書かせていただけていないところなど、色々入れるべきところと、省いているところがある。今後はそういうところも含めて、個別計画というか、次の段階では入れられるように考えていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

#### <石田委員>

今回この部会としては最後だが、色々な文言・表現、ご指摘をいただいた。あとこれは毎回出ていたかと思うが、SDGsを意識した書き振り、ここはまだ再度確認をさせていただいて、最終的なものにしていきたいと思う。

委員から出ていた、横浜SDGsデザインセンターのような仕組み、これはまだ最終まであるので検討していきたいと思う。

部会長からも分かりやすい説明をいただいたが、SDGsと選択と集中の考え方、私はSDGsの目的を達成するための選択と集中という手法であろうかと思うが、相反する見え方もするのでここは大きな疑問点になる可能性もある。少し注意して最終に持っていければいいと思っている。

<部会長>

今後は全体会議として審議を進めていくということになる。皆様におかれては、引き続きどうかよろしくお願い申し上げます。貴重なご意見をいただいたが、まだ何か伝え足りない、指摘が漏れているという心持ちの委員はおられるか。もしおられれば追加発言をしていただいても構わないがよろしいか。

(意見等なし)

それでは特にないようなので、今日出たご意見を踏まえて今後の改善のために資していただきたいと思う。

### 3. 閉 会

事務局により、次のように事務連絡が行われた。

<事務局>

この自治総合部会については、先ほど説明があったとおり第4回目となる今回で終了となっている。皆様、様々なご意見をお寄せいただき感謝申し上げます。

次の審議会は全体会議を予定している。その日時については、事務局からメールでご連絡差し上げた通り、2月10日木曜日の10時からとなっている。次回の案件については、各部会の4回目でお寄せいただいたご意見を反映させた、第7次総合計画の基本構想及び前期基本計画をご審議いただく他、今後のパブリックコメントの実施に併せて行うキャッチフレーズの公募の手法や、中学生意識調査の結果をお示しさせていただく予定である。また、その開催方法については、この日も蔓延防止等重点措置が適用期間中となっていることが見込まれることから、今回と同様にオンライン会議を活用した形での開催とさせていただきます。

それでは以上をもって、池田市総合計画審議会、第4回自治総合部会を終了させていただきます。

以上